

(小学校4～6年生用)

児童生徒用1人1台^{たんまつ}端末 (クロームブック)

使用のきまり

クロームブックは、世界中の知識とつながり、
自分の考えを形にするための「^{ぶんぼうぐ}大切な文房具」です。

みなさんが、
これからのデジタル時代を生きる「よき使い手」になれるよう、
一人一人に学習のために貸し出します。
長く、安全に使い続けられるよう、次の約束を必ず守りましょう。

令和8年9月改訂





大切に使うプロになろう

- 「借りているもの」という意識をもつ^{いしき}
学習のために貸し出しているもので、
あなただけのものではありません。
常に大切に扱う意識を持ちましょう。

持つときは
赤ちゃんだっこ

- 清潔と整理整頓^{せいけつ} ^{せいとん}
手をきれいにし、机の上を片付けてから使います。
飲み物や食べ物が近くにある時は使いません。

- 「ゆっくり・丁寧」が基本^{ていねい}
画面を強くたたいたり、振り回したりしません。
上に物を置いたりしません。タッチペンも大事な道具です。
やさしく使いましょう。



- 「落とさない!」移動の合言葉^{いどう}
学校内で持ち運ぶときは両手で抱えて持つかケースに入れます。



自分の体と時間をコントロールしよう

- 正しい姿勢で使う^{しせい}
机やテーブルの上に置いて使いましょう。
姿勢が悪くなったり、目に負担がかかったりしないよう、
画面と目の距離^{きょり}は30cm（ひじから手首くらい）以上離します。

30cm以上離す

- 使いすぎに注意
ずっと使い続けると目が疲れます。
20分使ったら、遠くを20秒間以上見て目を休ませましょう。



- 授業への集中
授業中は、先生の指示があるときだけ画面を開きます。
使わない時は画面を閉じるか先生の方へ向け、授業に集中しましょう。

- 睡眠を大切に^{すいみん}
家で使うときは、脳を休ませるため、寝る1時間前には使用をやめましょう。



3 自分と友達の「安心・安全」を守ろう

● パスワードは「家のカギ」

使うときに入力するパスワードを教えるのは、家のカギを渡すのと同じです。
友達でも絶対に教えるべきではありません。

● アカウントは勉強のためだけのもの

学校からもらったアカウントは、先生に「使っていていいよ」と言われたパソコン以外では、絶対に使わないようにしましょう。

● 写真や動画のルールを大切に

カメラを使う時は必ず相手に
「撮ってもいい？」と聞き、許可をもらいましょう。



● 個人情報^{じょうほう}は「出さない・載せない」^の

名前、住所、顔写真などは、一度ネットに出ると完全には消えません。先生の許可なく入力してはいけません。

● 心のこもった言葉選び

画面の向こうには人間がいます。友達をきずつける書きこみや、
相手がいやがることは絶対に入力しません。



4 持ち帰りのルールを守ろう

● ランドセルから出さない

登下校ではケースに入れたうえでランドセルに入れます。

手で持って帰ったり、帰る途中^{とちゅう}で出したりしてはいけません。

● 家の中で使う場所と時間^{そうだん}の相談^{さうだん}をしよう

家の人と「どこで」「いつまで」使うか、話し合って決めましょう。
できるだけ家の人の目が届く場所で使います。

● 保管場所^{ほかん}のルール

床に直接置くと、踏^ふんで壊^{こわ}してしまう原因になります。
必ず机の上など、決まった場所^{じゅうでん}で充電・保管しましょう。

● 家以外での活用

公民館や図書館などで使う場合も、目的は「学習」です。
家の人に許可をとったうえで、大きな音を出さないなど公共の場所でのマナーを守って使いましょう。





安全に使うために（大切な約束）

- ^{せっていへんこう}設定変更はしない
みんなが正しく安全に使い続けるため、管理ルールがあります。
勝手に設定を変えてはいけません。
- 「おかしいな？」はすぐ報告^{ほうこく}
^{こしょう}故障かなと思ったら、変な画面が出たり、
^{いや}嫌なメッセージが届いたりしたら、すぐに先生や
お家の人^{そうだん}に相談してください。
- きまりは必ず守ろう
これらの「きまり」が守られていない場合は、
クロームブックを使うことができなくなることがあります。



生成AI^{かしこく}を賢く使おう

- 先生との約束を守る
先生が「使っていいよ」と言った時だけ、決められたサービスを使いましょう。
- 自分の頭で考える
AIの出した答えをそのまま写すのはいけません。AIを「相談相手^{そうだん}」として使い、最後は自分の力で考えをまとめましょう。
- 大切な情報^{じょうほう}を守る
自分や友達の名前、住所などの個人情報^{こじんじょうほう}は絶対に入力しません。
- 正直に伝える
AIにヒントをもらって作文などを書いた時は、
どこを手伝ってもらったか先生に伝えましょう。





知ってほしいこと

● 個人情報^{じょうほう}の守り方

学習アプリなどには、みなさんの名前や学校名が登録^{とうろく}されていたり、先生の指示で入力してもらったりしますが、それらの情報は、学習以外の目的で使われることはありません。

● 使用^{せいげん}の制限と記録

みんなをトラブルから守るため、見られるサイトの制限をかけたり、使い方の記録をとったりしています。「だれも見ないからいいや」と、学習に関係ない使い方をすることは許されません。トラブルにつながる使い方が記録された場合は、先生からの指導などに用いられることがあります。

